



今尾の子



令和4年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和4年4月7日

小さな目標と笑顔・感謝の心を

本年度も今尾小学校で勤務することになりました。温かく子供たちを見守ってください地域の人、よい手本である先輩など、今尾の素晴らしさを知り、今尾を愛する子供たちを育てたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

遅くなりましたが、昨年度も、コロナ禍の中で様々なことに制限がかかる中、保護者、地域の方々には、「ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます」ございました。おかげで無事に一年を終えることができ、三十九名の卒業生は次のステージに進み、在校生も全員が進級することができました。感染症対策は、まだまだ続きそうですので、「ご協力をお願いします」。

人はみんな、毎日一生懸命に生きようとしています。誰にもよき、素晴らしさがあります。それを、さらに伸ばそうとしているのではないのでしょうか。子供たちは、まさにその途中の段階にあります。かけがえのない命を大切にして、人生を歩んでいけるようにしていくために、見守り、支えたり、励まし、導いたりできるのは、保護者や家族、地域の方々、教師ではないでしょうか。

そのために、まず大切なことは、自分なりの自分としてのめあて、目標をしっかりとらせることです。めあて、目標が明確になれば、

それに向かつて頑張ろうという意欲が自然に湧いてきます。まず、具体的に、実現可能な小さな目標を立て、それを達成する。そのことを積み重ねる、繰り返しさせることが大切です。二度とやり直すことができない学校や家庭での生活です。一日一日、一時間一時間を大切にして、自分で自分を褒めることができるような生活を送ってほしいと思います。

そのためには、二つ目に大切なことは、笑顔で話を聞いてあげることです。笑顔は『万病に効く良薬』とも言われます。誰にでもできる簡単なことですが、一番難しいことかもしれません。笑顔は、周りの人に安心感を与えます。さらに、自分の想いを聞いてくれる人が近くにいると、安心できることほど安心できることはありません。どんな些細なことでも、子供にとつては大きな出来事であり、心を揺さぶられる感動体験だと思います。

その上でさらに、認め、褒めること、感謝の心を大切にしていきましょう。認められたり、褒められたり、感謝されて嫌な思いになる人などいないと思います。大人でもうれしくなり、やる気や元気が湧いてくるのではないのでしょうか。家庭・学校・地域で大切にしていきたいでしょう。

私たち本校の職員も同じように、手本となるように、また、子供たちのあこがれの存在になるように努める所存です。これからも、「ご理解・ご協力をよろしくお願ひします」。

(日比 修二)

誰にもあるよ 小さな勇気が

大きな花が一つ飾られている教室より
小さな花がいつもたくさん飾られている教室のほうがいい

大きな勇気を待たまもつより
小さな勇気を いつももっていて欲しい

大きな勇気をもった一人の力で進むクラスより
小さな勇気をもった全ての人の総力で進むクラス
であれ

今日より小さな勇気の花がいっぱい咲き乱れるクラスにしよう

そのために君の小さな勇気をいっぱい発揮しよう
君の心の中に小さな勇気の炎を赤々と燃やせ

《退職・転出職員》お世話になりました。

- 教諭 大口 千夏 (海津市教育委員会 教育研究所)
- 教諭 影山 涼 (岐阜市立長森北小学校)
- 講師 宇佐美 はつね (大垣市立日新小学校)
- 講師 渡辺 聡志 (大垣市立川並小学校)

《転入職員》お世話になります。

- 教諭 金森 見 (大垣市立小野小学校)
- 教諭 尾畑 沙耶 (新規採用)
- 講師 塚本 隆詞 (海津市立城山小学校)
- 講師 杉野 孝正 (海津市立日新中学校)

